

経営比較分析表（令和4年度決算）

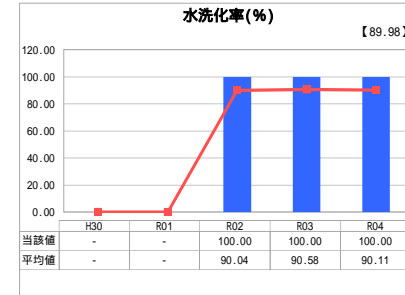
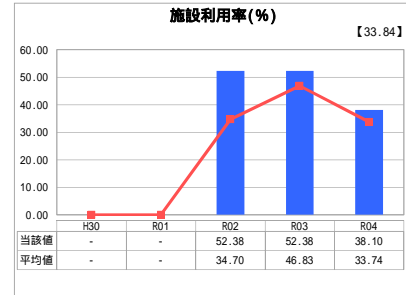
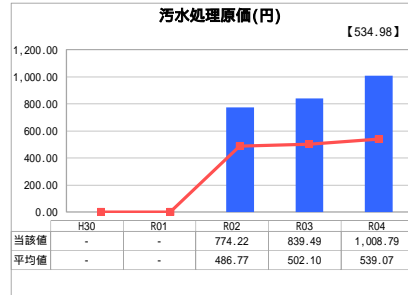
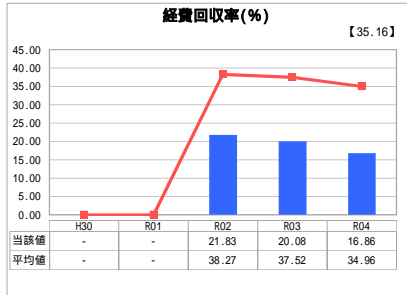
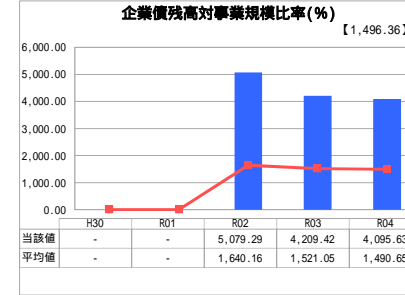
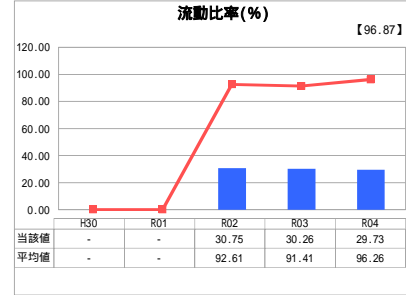
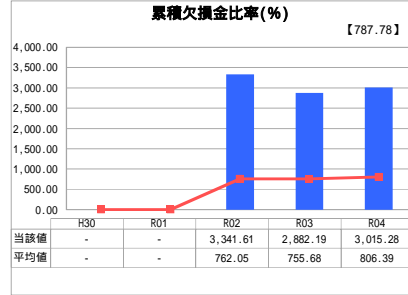
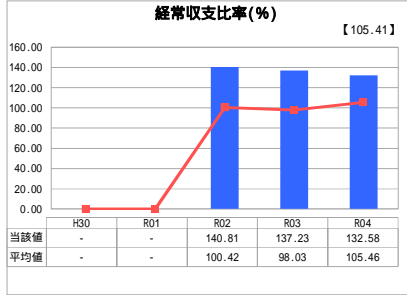
兵庫県 上郡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	22.47	0.20	96.26	3,080

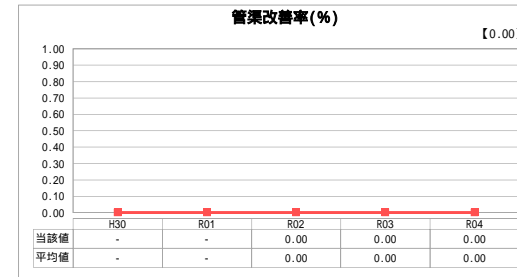
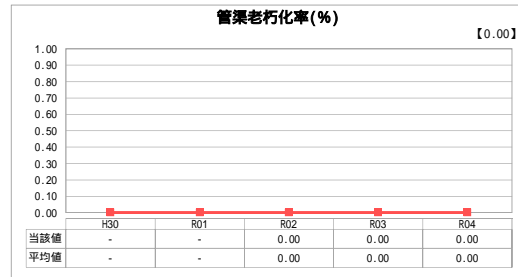
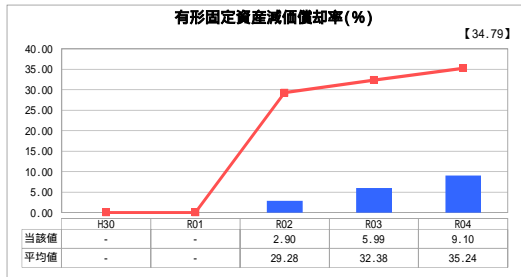
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,090	150.26	93.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
28	0.01	2,800.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%以上で、単年度収支は黒字となっている。しかしながら、一般会計からの繰入金に依存しており、使用料収入の確保、費用削減などの経営改善を図っていく必要がある。

累積欠損金が発生しており、類似団体平均値と比較すると高い傾向にある。

流動比率は、29.73%で類似団体平均値よりも低くなっている。企業債償還が多額であることが主な要因であり、支払いに必要な資金を当該年度の繰入金等で賄っている。

企業債残高対事業規模比率は4,095.63%で、類似団体平均値より高くなっている。事業開始時に投資した企業債の残高が高いことが要因となっており、今後は大きな更新の予定はないため、減少していく見込みである。

経費回収率は16.86%で、汚水処理に係る費用の大半を一般会計からの繰入金により賄っている状況である。

汚水処理原価は、類似団体平均値より高くなっているが、これは地理的要因により加入件数が少ない地域で実施している事業であることが主な要因となっている。

施設利用率は、類似団体平均値よりも高くなっているが、今後は人口減少により数値は低くなることが予測される。地理的に他の処理区との統廃合は難しく、適切な施設規模、最適な処理方法を検討する必要がある。

水洗化率は100%であり、区域内の整備は完了している。

2. 老朽化の状況について

小規模集合排水処理事業については、区域内の整備が完了しており、供用開始から20年以上経過しているが、近年管渠等の更新は行っていない。

今後の老朽化対策については、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故や機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、効率的で計画的な老朽化対策について検討し、実施していく予定である。

全体総括

小規模集合排水処理事業は、区域内の整備が完了しており、水洗化率は100%となっている。一方、地理的要因で加入件数の少ない地域で実施している事業であるため、使用料収入だけで汚水処理費を賄うことができず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。

今後は、更に人口の減少が予測されることから、適切な施設規模、最適な処理方法を検討する必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。